

平成 28 年度の岩手県二戸保健所業務概要について

(平成 28 年 12 月末現在)

1 管内の概況

当所は、二戸市、軽米町、九戸村、一戸町の 1 市 2 町 1 村を所管しており、面積 1,100.21 k m²、世帯数 23,617 世帯、人口 54,656 人、人口密度 49.7 人/k m² (平成 28 年 10 月 1 日現在、岩手県人口移動報告年報) となっている。

地域の保健と医療を取り巻く環境は、少子・高齢化の一層の進行、生活習慣病罹患者の増加、疾病構造の変化等に伴って行政に対する需要が多様化しており、当所では、疾病予防から健康を回復するまでの援助、健康増進、食品の安全性の確保等に至るまで、きめ細かなサービスの提供に努めている。

市町村別・年齢(3区分)別人口及び年齢構造指標

(参考:岩手県人口移動報告年報)

(平成28年10月1日現在)

区分	人 口 (人)					割 合 (%)			老年人口 指 数	老 年 化 指 数
	総 数	0～14歳 (年少人口)	15～64歳 (生産年齢人口)	65歳以上 (老年人口)	年齢 不詳	0～14歳	15～64歳	65歳以上 (高齢化率)		
県 計	1,268,083	147,370	720,908	392,662		11.7	57.2	31.1	54.5	266.4
圏 域 計	54,656	5,653	29,110	19,848	45	10.4	53.3	36.3	68.2	351.1
二 戸 市	27,149	3,000	14,816	9,288	45	11.1	54.7	34.3	62.7	309.6
軽 米 町	9,131	891	4,828	3,412	0	9.8	52.9	37.4	70.7	382.9
九 戸 村	5,784	624	2,842	2,318	0	10.8	49.1	40.1	81.6	371.5
一 戸 町	12,592	1,138	6,624	4,830	0	9.0	52.6	38.4	72.9	424.4

・ 割合の算定では総数から年齢不詳除く 【老年人口指数…老年人口/生産年齢人口×100 老年化指数…老年人口/年少人口×100】

2 各課の業務状況

(1) 管理課

ア 医療関係 ⇒ 《別議題》保健医療計画・地域医療構想

① 医療監視及び医療安全

- ・ 病院、診療所及び施術所等への立入指導 8月～ 30か所実施
- ・ 住民からの医療相談 7件
- ・ 地域医療安全対策研修会の開催 3月8日開催予定
医療従事者等を対象に医療安全対策の推進を目的として開催

② 医療従事者の確保対策

- ・ 医療現場体験会の開催 8月 中学3年生17名(5校)参加
将来の医療従事者を確保するため、二戸病院を会場に開催
- ・ 出前講座の実施 7月～2月 中学2年生321名参加
将来の医療従事者を確保するため、現役の医師が福岡、九戸、一戸、軽米、金田一、御返地の6中学校に出向いて実施

- ③ 災害医療体制の構築
 - ・ 地域災害医療対策連絡会議 2月
 - ・ 災害医療コーディネーター養成研修参加
- ④ 医療・介護・福祉の連携
 - ・ カシオペア地域医療福祉連携研究会への参画、活動支援
〈市民フォーラム〉
 - 「自分に合った人生の終わり方を考える」 10月 144名参加
〈研修会〉
 - 「成年後見制度」 7月 約80名参加
 - 「高齢者のための薬の知識に関するテーマ（題名未定）」
「医療現場・介護現場におけるオムツ装着に関する内容（題名未定）」
2月14日開催予定

イ 高齢者福祉関係

- ① 介護予防地域支援及び認知症対策
 - ・ 歯科保健医療従事者研修会 12月 70名参加
 - ・ 二戸地域保健福祉活動実践報告会 3月上旬開催予定
 - ・ 「認知症を知り共に支える会議」（二戸市社協設置）への委員参画
- ② 敬老記念品贈呈（敬老行事出席、自宅訪問等）
 - ・ 100歳祝状及び記念品贈呈者 20名

ウ 介護保険関係等

- ① 介護保険サービス事業者等講習会（集団指導） 7月 54名参加
- ② 介護保険施設等実地指導 9月～ 12か所（23種別）実施
- ③ 老人福祉施設指導監査 10月～ 11か所実施
- ④ 業務管理体制確認検査 11月 1か所実施
- ⑤ 有料老人ホーム立入指導 9月～ 5か所実施

(2) 福祉課

ア 社会福祉総務

- ① 民生委員・児童委員等研修会（平成29年2月16日開催予定）
委員の改選を踏まえ、各福祉分野（高齢福祉、障害福祉、児童福祉、生活困窮者）における二戸地域の状況等を報告するとともに、民生委員・児童委員と各関係機関との連携強化を図る。

- ② 生活困窮者自立支援 ⇒ 《別議題》 **自殺対策関連**

「困りごとを共に考える地域づくり～もう一歩よりそうために～」

平成28年4月に生活困窮者への自立相談支援に関し、二戸地域の全市町村等が協働する広域体制が確立。管内の全世帯（約23,000世帯）に制度周知を図るとともに、隣接する盛岡地域、久慈地域とも連携した支援を実施。

イ 障害者福祉

- ① 障害福祉サービス事業所等の指導
 - ・ 集団指導 8月実施：49事業所参加。
 - ・ 実地指導 9月～12月実施：全56事業所中24事業（3年に1回）

- ② 二戸圏域地域自立支援協議会運営支援
 ・ 代表者会議（年2回）、実務者会議（年5回）、各分科会（毎月1回）

ウ 児童福祉

- ① 家庭児童相談（H29.2.1現在）：14件（虐待や不登校及び経済的相談など）
 ② 児童福祉施設事務指導（保育所等）：18施設（毎年実施）

エ 母子福祉

- ① 母子父子寡婦世帯相談指導（H29.2.1現在）：31件
 ② 母子寡婦福祉資金貸付（2H29.2.1現在）：4件（修学2件、就学支度2件）

オ 生活保護

① 年度別被保護世帯数・被保護人員数・保護率の推移

	25年度	26年度(A)	27年度(B)	B/A (%)	28年12月1日 (直近月)
管内世帯数	11,833	11,833	11,768	99.50	11,733
被保護世帯数	252	254	262	103.10	259
管内人口	29,879	29,342	28,742	98.00	28,169
被保護人員	335	345	350	101.40	347
保護率(‰)	11.06 ‰	11.75 ‰	12.17 ‰	103.60	12.31 ‰

② 世帯類型別の推移

	25年度			26年度(A)			27年度(B)			28年12月1日 (直近月)			B/A (%)	直近月 構成比 (%)
	単身者世帯	2人以上世帯	小計	単身者世帯	2人以上世帯	小計	単身者世帯	2人以上世帯	小計	単身者世帯	2人以上世帯	小計		
高齢者世帯	118	10	128	121	8	129	126	8	134	125	9	134	103.9%	51.7%
母子世帯			8			9			8			7	88.9%	2.7%
障害者世帯	30	8	38	27	9	36	31	8	39	38	8	46	108.3%	17.8%
傷病者世帯	22	6	28	21	5	26	18	4	22	18	6	24	84.6%	9.3%
その他世帯	23	26	49	19	34	53	24	34	58	14	34	48	109.4%	18.5%
計	193	50	251	188	56	253	199	54	261	195	57	259	103.2%	100.0%

(3) 保健課

ア 健康づくり・栄養改善

① 地域・職域連携推進事業

- ・ カシオペア連邦健康21ネットワーク会議（年2回）
- ・ 地域・職域連携推進ワーキンググループ（年4回） 8月～ 3回 42名
- ・ カシオペア健康川柳入賞作品を活用した普及啓発（通年）

② 脳卒中予防緊急対策事業 ⇒ 《別議題》

- ・ 減塩リーダー養成講習会 5月～ 9回 233名
- ・ 学校及び事業所への健康づくり出前講座 6月～ 17回 636名

※ 健康運動含む

- ・ 「いわて減塩・適塩の日」促進事業 7月～ 7回 272名

※ 事業所や学校、市町村健康まつりでの講話や減塩・適塩食の試食等（食生活改善推進員協議会二戸支部との共催含む）

- ・ 栄養成分表示及び禁煙分煙飲食店の拡大講習会の開催（年8回）
5月～ 6回 135名
【二戸管内栄養成分表示登録店 14店舗（H28年度新規登録1店舗）】
- ・ 禁煙支援マスター等による健康教室 4月～ 3回 135名
【二戸管内禁煙店 17店舗、分煙店 1店舗（H28年度新規登録1店舗）】
- ・ 学校等における禁煙化実態調査の実施 7月
【管内小・中・高校は、全て敷地内全面禁煙】
- ③ 食生活改善推進員地区組織の育成及び協働事業
 - ・ 地域力アップ等研修（健康運動をテーマ） 6月 1回 64名
 - ・ 高齢者を対象とした共食事業（管内4市町村で各2回実施） 223名
 - ・ 地域別塩分摂取傾向調査・分析（2年計画の2年目）
- ④ 特定給食施設指導
 - ・ 立入施設数 7月～ 13施設

イ 母子保健

- ① 小児慢性特定疾病医療費支給認定 70件（H28年3月末）
- ② 不妊に悩む方への特定治療支援事業費助成 41件（H28年3月末）
- ③ 母子保健関係者連絡会（年1回） 2月28日開催予定
- ④ 妊産婦メンタルヘルス研修会（年1回） 2月28日開催予定
- ⑤ 思春期保健講演会（年1回） 8月 53名

ウ 精神保健福祉対策及び自殺対策

- ① 自立支援医療（精神通院）及び精神保健福祉手帳の交付
 - ・ 自立支援医療（精神通院）受給者 850名（H28.3月末）
 - ・ 精神障害者保健福祉手帳所持者 415名（H28.3月末）
- ② 精神障害者の入院措置（平成27年度）
 - ・ 通報等件数 4件（うち措置入院決定0件）
- ③ 精神保健相談（こころの健康に関する相談）
 - ・ 4月～ 面接23件、電話99件
- ④ ひきこもり対策推進事業
 - ・ ひきこもり家族教室（年4回） 6月～ 3回 12名
 - ・ ひきこもり個別相談会（年3回） 8月～ 2回 2名
 - ・ ひきこもり地域支援ネットワーク連絡会（年1回） 1月 1回 17名
- ⑤ 自殺対策 ⇒ 《別議題》

二戸地域の自殺死亡率は、平成13年以降、県平均を上回る状況で推移。

【年次別自殺死亡率（人口動態統計）】

	平成25年	平成26年	平成27年
全国	20.7	19.5	18.5
岩手県	26.4	26.6	23.3
二戸管内	55.3	35.2	公表前

平成27年3月に策定した「二戸地域自殺対策アクションプラン」に基づき、関係機関、市町村等との連携・協力のもと自殺対策の推進を図っている。

〔主な取組〕

○地域の関係機関との情報共有・連携強化

- ・自殺対策推進協議会（年1回）
- ・自殺対策ネットワーク連絡会（年8回） 6月～7回 273名
- ・市町村担当者連絡会（年3回） 5月～3回 28名
- ・傾聴ボランティア団体代表者連絡会 5月～2回 20名

○人材養成・育成

- ・傾聴ボランティア養成講座（4回コース）受講者延86名（講座修了23名）
- ・傾聴ボランティアフォローアップ研修会（年2回）7月～1回 20名
- ・傾聴ボランティア団体活動支援（通年）
- ・ゲートキーパー養成研修 5月～1月 3回 43名
- ・自傷行為の理解と援助研修会（1回）※精神保健福祉センターと共催 12月 46名

○相談窓口の設置・普及啓発等

- ・こころの健康相談（通年）
- ・心の健康づくり講演会 4月 41名
- ・アルコール健康障害に関する研修会（1回）ネットワーク連絡会併催 11月 45名
- ・心の健康づくり出前講座 7月～3回 83名
- ・事業所、商工団体の訪問 7月～ 7カ所
- ・くらしとこころの総合相談会（1回） 3月11日開催予定

○ハイリスク者の見守り・相談支援体制の強化

- ・自殺未遂者支援事業（精神保健福祉センター主催事業）への協力（通年）
- ・自殺未遂者支援に係る市町村連絡会 9月 4回 16名
- ・自死遺族への支援（「自死遺族交流会の開催」）（年4回）

エ 感染症対策

感染症発生時には、積極的疫学調査を行い感染拡大防止に努めているほか、地域住民及び介護・福祉施設等関係者に対して感染症予防対策に係る研修や情報提供を行っている。

- ① 感染症発生動向調査の実施（通年）
- ② 感染症発生状況（結核以外）
 - ・腸管出血性大腸菌感染症 4月～ 6件（事案数2）
 - ・感染性胃腸炎集団発生 4月～ 5件
 - ・侵襲性肺炎球菌感染症 4月～ 1件
- ③ 感染症予防対策研修会（2回） 9月 11月 76名
- ④ 鳥インフルエンザ、新型インフルエンザ発生に備えた対応訓練等
 - ・関係機関連絡会議への参加、PPE着脱訓練（2回）
 - ・情報伝達訓練、病院実働訓練等への参加 11月～12月 3回

オ 結核対策

- ① 結核患者発生状況
 - ・H28.1月～12月新規登録患者数 26件（うち潜在性結核感染症16件）
- ② 結核患者管理等（4月～1月末）
 - ・治療中の患者に対する服薬指導等 訪問40件、電話21件

- ・ 感染者の早期発見のための接触者健診の実施 210 件 (前年度 57 件)
- ・ 治療終了者の再発防止 (管理健診等による病状把握) 20 件
- ③ 結核特別対策研修会 (年 1 回) 3 月 2 日開催予定

カ 難病対策

- ① 特定医療費 (指定難病) 支給認定 426 件 (平成 28 年 3 月末)
- ② 難病療養者及び家族の交流会 (2 回) 6 月 9 月 33 名

キ 口腔保健

- 歯科保健医療従事者研修会 (2 回) 10 月 12 月 124 名

(4) 環境衛生課

ア 食品衛生関係業務の状況

- ① 食中毒の発生防止及び食品の安全確保
 - ・ 食品営業施設等の監視指導 延べ 2,605 件
 - ・ 集団給食施設の監視指導 11 件
- ② 食品等の検査
 - ・ 微生物、残留農薬及び放射性物質等を検査項目とした収去検査 61 件
- ③ HACCP 方式の考え方に基づく自主衛生管理の推進
 - ・ 重点対象施設における岩手版 HACCP 導入施設割合 54.3%
- ④ 食の安全安心に関するリスクコミュニケーションの実施
 - ・ 出前講座等 13 回 326 名参加

イ 狂犬病予防関係業務の状況

- ① 市町村及び獣医師会二戸支会等と連携した動物愛護週間行事の実施
 - ・ 動物慰霊祭及び動物愛護フェスティバル
9 月 22 日、90 名参加 (参加犬 45 頭)
- ② 犬の適正な飼養保管等に係る普及啓発事業の実施
 - ・ 犬のしつけ教室等 2 回開催、延べ 30 名参加 (参加犬 19 頭)

ウ 環境衛生関係業務の状況

- ① 環境衛生関係営業施設への指導等
 - ・ 衛生水準の維持向上を図るための立入検査の実施
理容所 1 件、美容所 2 件、クリーニング所 15 件、旅館 55 件、
公衆浴場 3 件、興行場 0 件
- ② 良好な水環境の確保対策
 - ・ 飲用水施設の監視指導 延べ 29 施設
 - ・ 浄化槽の適正な維持管理の指導 25 件
 - ・ 水質特定事業場の排水の水質検査 20 件
 - ・ 公共用水域の水質検査 延べ 53 件

エ 薬務関係業務の状況

- ① 医薬品の適正管理・販売等を図るための薬局等に係る監視指導
 - ・ 薬局及び医薬品販売業の監視指導 36 件
- ② 薬物乱用防止運動及び大麻・けし撲滅運動
 - ・ 「ダメ。ゼッタイ。」普及運動 6 月

ポスター配布、薬局等協力店舗における一声運動

- ・ 麻薬・覚せい剤乱用防止運動 10月
ポスター配布、市町村広報紙掲載による防止啓発
- ・ 不正大麻・けし撲滅運動 6月から8月
不正大麻・けしの発見、除去 大麻 13,037本、けし 5,000本

③ 献血推進

- ・ 献血推進専門員及び市町村と連携した学校訪問 5校

オ 希望郷いわて国体及び希望郷いわて大会開催に係る監視・指導

各市町村の国体等実行委員会と連携しながら、国体等に係る関係事業者の把握を行い、関係事業者を対象とした衛生講習会を実施したほか、関係事業者の営業施設を対象に重点的な監視と衛生指導を実施しました。

【主な取組】

- ① 食品、宿泊関係者への衛生講習会（8月、出席者 38名）
講習内容：食中毒予防、レジオネラやノロウイルスによる感染症対策、検便の推奨
- ② 食品関係施設への監視指導（6月～10月）328施設を対象に延べ 439回実施
- ③ 宿泊施設への監視指導（6月～10月）17施設を対象に延べ 42回実施
- ④ 水道施設への監視指導（6月～10月）
各市町村の水道事業所及び関係施設（10施設）を対象に、延べ 13回実施
- ⑤ 感染症予防対策（8月）衛生講習会において予防対策を指導
- ⑥ 大会当日の対応（10月2日～10月23日）
5競技6会場において、弁当やおふるまい等食品の衛生的な取扱いを指導
（大会延べ日数：12日、選手役員等関係者延べ人数：7,356名）

